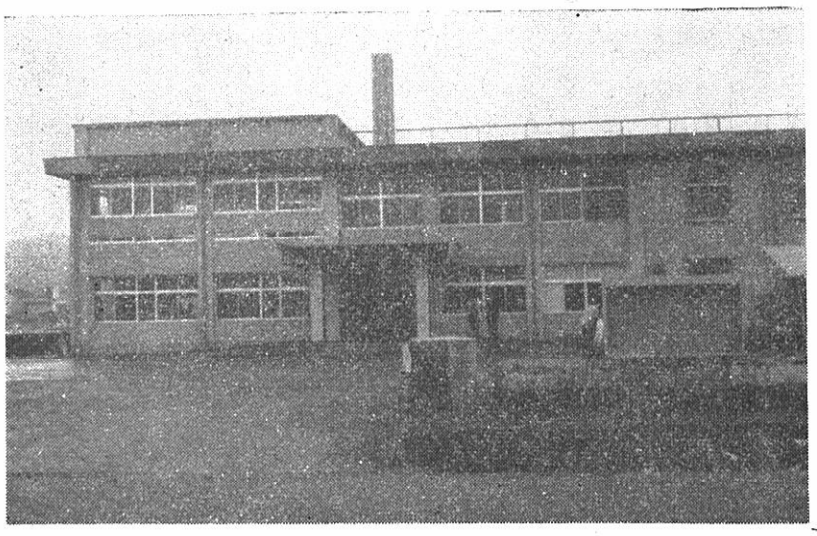
広報もりよし

発行所　森吉町役場
編集　企画室
印刷所　米内沢中央印刷所
発行部数　3,500部
毎月15日発行1部5円

警察署新庁舎完成す

治安を守る近代施設



上は、今度阿仁部の治安を守る米内沢警察署新庁舎

下は、30年の風雪に耐え、その任を果たして来た旧庁舎

米内沢警察署の新庁舎は去る七月から着工していたが、このほど完成し十二月十日午後一時から小畑知事南条県警本部長ら関係者百五十人が出席して完工式をあげました。

米内沢警察署は明治八年阿仁町水無にあった秋田警察署才五小区水無分屯所が前身であり、昭和八年に建てられたが老朽化したため米内沢川向に二千三百四十一平方メートル（七〇八、六六坪）の敷き地をもとめ鉄筋コンクリート二階建てのほか車庫、倉庫、自転車置場など総事業費二千七百二十六万七千円で完成しました。庁舎前の広場はアスファルト舗装、屋上からは米内沢の市街地はもとより合川方面も見えます。一階は、署長室、事務室、ボイラー室、電話、無線専用の交換統制室、監房三室、宿直室など、二階は捜査室、警備室、取調室二室、少年補導室、困り事相談室、写真室がある。道場の床はスプリング入り。全館スチーム暖房、水洗便所と衛生設備がなされている。

また県警本部と直結した無線が新設され、庁舎横には高さ三十五メートルのアンテナ塔が設置され、無線装備の新鋭パトカーの活躍とあわせ近代警察力の機能が充実し、阿仁部の治安維持、交通安全のセンターとしての活躍が期待されています。

なお、竣工祝賀会では、知事、本部長のあいさつのあと、工事施工者の秋田土建をはじめ三業者に感謝状が贈られ、次いで鮎川署長は次のような感謝のあいさつをされた。「旧庁舎は昭和八年の建築で、三〇年間もこの土地の豪雪に耐えて参りましたがその腐朽も甚しくみなさまには多くの不便をおかけして参りました。このたび長い間の夢が全管内を流れる清流阿仁川のほとりに健康的で、しかも近代化を誇る新庁舎の完成をみたのでありますが、この立派な庁舎に初歩を印した私と全署員は喜びと感激を全身で受けとめて感謝申しあげております。私どもはこの新庁舎竣工の意味に答えまして頼りになる警察の確立をモットーとし、明るく、正しく、そして強い国民の奉仕者としての職務遂行に専念しご厚情に報いる覚悟であります。」

又当日の余興として修ばつ式後、広場で地元米内沢共勇会の獅子踊が披露され竣工を祝いました。

これで、数々の近代施設を整えられた同署は、愈々阿仁部管内の森吉、合川、阿仁、上小阿仁の四カ町村の治安を守るわけであるが管内の広さは、雄勝郡よりも広く、その期待も大きいのであります。年配の方は記憶にあると思うが、そのうつりかわりの一端を書きますと、明治二十年阿仁町水無より現米内沢に移転、米内沢分署と改称明治四十三年には米内沢農協事務所になっている寺の下に庁舎を建築、大正十五年米内沢警察署に昇格、昭和八年今の旧庁舎のある寺の上七二番地に庁舎が移転しています。戦後は、自治体警察、国警などの改正がありましたが、昭和二十九年より秋田県米内沢警察署となって、現在に至っております。

会工商市第五回ビックリ

名の如くまさに〝びっくり〟する値

高い旅費と、時間をかけてまで他市町へ買物に行くに及びません。

森吉町商工会有志による特売会が毎年一回開催され、五回目がこのほど終りましたが、地元業者も「よい商品」を「より安く」のモットーのもとに、大勉強でありました米内沢地区で四日間、前田地区で三日間特売しましたので、その値段を調べて見ましたが、一般町民の、他市町より高いと思うことは逆に全く良心的そのものでありました。

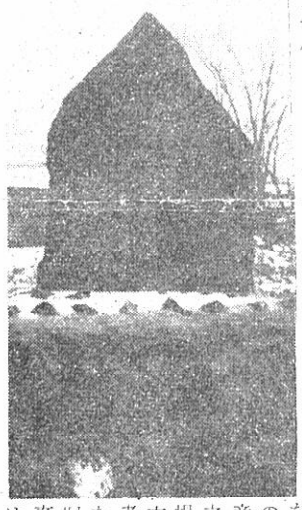
主として、呉服、衣料品、既製服洋品、下着類、靴、履物、家庭用品日用雑貨、家具類でしたが、品物も揃っていますし、格安ですので、大いに利用すべきであると思います。今回は十三店が参加し、その売上高も約九百万円にのぼり、上々の成績でありました。今後は年二回開催し町内消費者の皆様に御便宜をはかりたいと申して居ります。なお、本年度びっくり市の参加店は次の各商店でありました。

近藤靴店、木利商店、高田呉服店、タキヤ呉服店、伊藤商店、森沢商店、細公呉服店、武石衣料店、松橋呉服店、福田洋品店、田牧履物店、佐慶商店、深谷家具店。

物価調査によりますと、当町の小売値段は、全般にわたって他市町村より高くはなって居りませんので、町民各位は、地元業者の利用を考え、何も、貴重な時間を費して、高い旅費を出して迄、買出に行く必要はないと思います。

（左、下の写真は、ビックリ市の模様、公民館で）

土佐市重郎氏の顕彰碑できる



阿仁部の畜産振興に一生をささげた故土佐市重郎氏の功労をたたえ、森吉町畜産改良組合（組合長庄司鉄之助氏）では、前田家畜市場に記念碑を建立し、去る六日、午前十一時より関係者四十名が参加して除幕式を行ないました。土佐氏は旧前田村長、農協組合長、畜産改良組合長の職をつとめ、戦前の馬産地、戦後の和牛導入に努力し、その功労が大きかった。除幕式には、遺族の隆二郎氏はじめ町長議長代理、畜産関係者列席し、生前の翁を偲びました。記念顕彰碑の文字は小畑県知事の筆によるもので、阿仁部畜産の親としての翁にふさわしい自然石の碑である。

（写真は馬産功労者のある土佐翁の碑）

小地域母子研修会

前田公民館で開く

去る十一月二十七日前田公民館で阿仁部小地域母子研修会が開かれました。これは県母子連と県婦人児童課の共催で、当日は、県母子連土井会長、郡連明石会長、婦人児童課係長はじめ阿仁部各町村の未亡人、当町からは近藤町長、多数の会員等参加しました。研修内容は、主として母子家庭の生活向上についての協議研究等であったが、特に会組織の拡充、各種資金の利用等PRが不足している点を指摘された。

※資金の利用

母子福祉資金（生業、修学、結婚、その他）

世帯更生資金、たすけあい資金

申込みは未亡人会長に。

※未加入会員

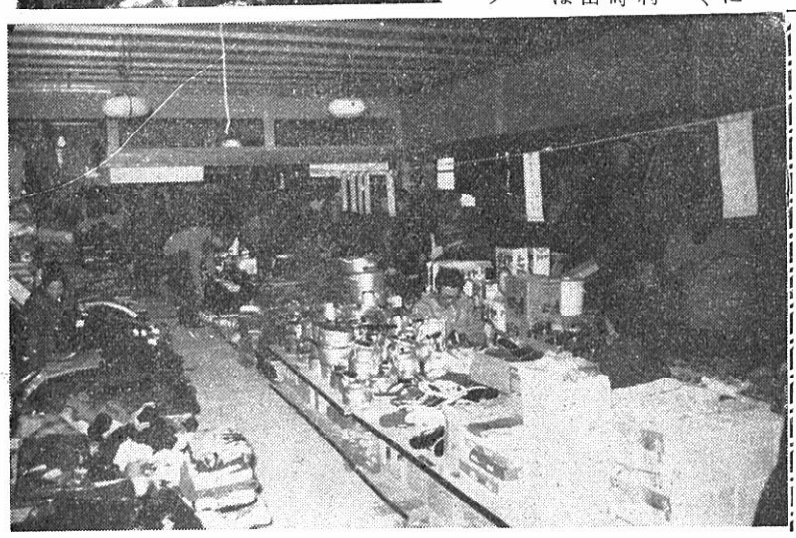
まだ未亡人会に入っていない方は、至急米内沢地区は、細田スゲ、前田地区は中村マツエまでお届け下さい。会費は、年間三〇円程度です。

※その他

児童扶養手当

（二〇才未満の児童を扶養する方に支給）母子年金等については、役場民生課に問合わせ下さい。

防犯だより



毎年年末は、各種犯罪や事故の多発する季節です。町民が明るく楽しい年末を迎えるために次の五つの重点実施事項を定め、一斉に「年末防犯運動」を展開することになりました。

①盗犯の防止、②暴力事犯の追放、③少年非行の防止、④風俗営業等の取締り、⑤交通の指導取締り、期間は十一日より三十一日まで

郵便局の窓口から

年末の郵便にご協力をお願いします。

年末の郵便はぼう大な量にふえ、平日の五倍から八倍に達する量の郵便物を取扱うことになります。このためいろ〳〵と施設を強化し、万全を期してスムーズに運ぶよう努力していますが、利用者の皆さんのご理解あるご協力をお願いいたします。

一、小包は十二月十五日頃まで出して下さい。

包装は厳重にして中身が抜けたり落ちたりしないようにして下さい。

二、年賀はがきは十二月二十二日頃まで出して下さい。

年賀はがきの特別取扱い期間は十二月十五日から十二月二十八日までですが遠方の方にも元日に届くように早目に出して下さい。

三、「あて名」は正確に「ハッキリ」と書いて下さい

年賀の「はがき」はとかく省略しがちですが、毎年迷い子郵便が相当でていますので「町名」「番地」世帯主以外の方には必ず「〇〇方」と、また住居表示制度の地域あては「〇〇何丁目〇番〇号」とはっきり書いて下さい。

四、飼い犬は必ずつないで下さい。

咬癖のある犬を放し飼いにしていると規則で配達せず持ち戻ることになっていますので必ずつないで下さい

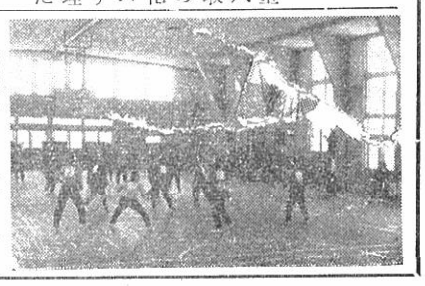
納税強調月間

今月二十五日まで

必らず完納いたしましょう。

町民の皆さん今年も残り少くなりました。町では十二月一日から十二月二十五日まで納税強調月間として納税にご協力を戴いております。十二月は、固定資産税第三期、健康保険税第四期の納期限です。期限内に納付して下さい。又滞納税金のある方はこの月間中に必ず完納し新しい年を迎えましょう。

家庭バレーボール大会盛会裡に終る



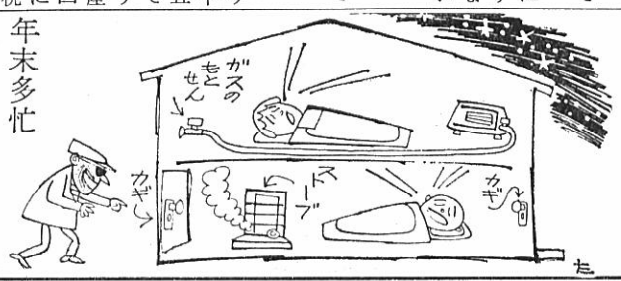
——十一月二十三日——

森吉町教育委員会、森吉町公民館、森吉町体育協会共催の第一回森吉町家庭バレーボール大会が、去る十一月二十三日に米内沢中学校で開催されました。午前九時半より競技が開始され次の一〇チームの熱戦が展開されました。

本郷下、浦田A、浦田B本郷上、前田A、前田B、本城、川向駅前、桂瀬、支郷及び議会チーム

そして三時半まで、大熱戦の結果、本郷下チームが優勝しました。誰にもできる最も親しまれる家庭バレーボールの普及をみんなではかりたいと思います。

年末多忙



つかれがちです
つい、うっかり……

不遇者の立場になり、共に悩まぬ限り、魂をゆすぶるわけにはゆかぬ（青少年を立派に育てる運動）

議会だより

建設常任委員会開催

昭和四十一年十二月一日午前九時より、役場会議室で、議会建設常任委員会を開催して、冬期除雪対策について協議し、現地調査の上万全の対策を図ることを協議した。なお、本会議は来る十二月二十日頃開催を予定している。

役場日誌（11月）

十一月三日　合併十周年記念式典
十一月四日　教育委員近藤喜美女史葬儀
十一月九日　農業構造改善促進協議会
十一月十二日　農業構造改善協力委員会
十一月二十二日　課長連絡会議
十一月二十八日　国民年金委員研修会（四〇名）

建築進む

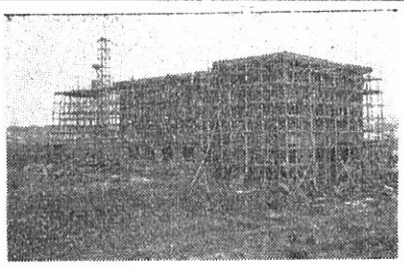
米内沢小学校

（右上は工事中の現場写真）

米内沢小学校の新校舎建築は、その後、工事は順調に進み、四十一年度工事部分のコンクリート工事は三階まで打ち上り、その威容の片りんをみせはじめています。

現在、外廻りのアルミサッシ取付、内外の左官工事、木工事等、年末にかけて急ピッチに工事は進んでおります。

本年度工事の進捗率は五一％であります。



選挙人名簿登録人員調

八、一九〇名　昭和41年11月1日現在

投票区別 ＼ 区分 男女別	41. 9.30 確定選挙人名簿登録者数 (1) 男	女	計	追加登録者数 (2) 男	女	計	抹消者数 (3) 男	女	計	41.11.1現在 選挙人名簿登録者数 (1+2−3) 男	女	計
米内沢	931	1,091	2,022	22	21	43	1		1	952	1,112	2,064
米内沢駅前	212	258	470		3	3				212	261	473
本城	226	272	498							226	272	498
浦田	240	287	527	1		1				244	284	528
長野	234	251	485	2	3	5				236	254	490
大野岱	66	61	127							66	61	127
前田	328	397	725		2	2				328	399	727
桂瀬	192	200	392	2	2	4	1		1	193	202	395
五味堀	243	267	510	1	2	3	1		1	243	269	512
小又	340	390	730	4	4	8				344	394	738
新屋布	163	181	344							163	181	344
巻淵	186	204	390	2		2				188	204	392
桐内沢	41	53	94							41	53	94
様田	83	75	158		1	1		1	1	83	75	158
森吉	187	192	379	1	2	3				188	194	382
小滝	55	60	115	1		1				56	60	116
湯ノ岱	75	76	151		1	1				75	77	152
合計	3,802	4,315	8,117	36	41	77	3	1	4	3,835	4,355	8,190

農近ゼミ郡市大会盛会に終る

——十一月二十八日　米内沢公民館で——

秋田県教育委員会、森吉町教育委員会、森吉町農業青少年育成協議会共催の「大館市北秋田郡農業近代化ゼミナール公開研究大会は去る十一月二十八日当町米内沢公民館で開かれ、約一五〇名の参加者のもとに盛会裡に終了しました。

当日は岩手大学石川武男教授の記念講演もあり、又当町農近ゼミ担当の片岡喜右ェ門氏の発表もあり有意義な公開研究でありました中でも、「反収七五〇キロにいどんで」の金勝彦氏、「わが家の親子契約について」の伊藤紀喜氏の研究発表は参会者に感銘を与えました。（写真は記念講演）

冬の交通事故はおそろしい

年末多忙のため、冬を迎えると、みんなの心は疲れがちで事故が起き易い季節です。去る十一月十七日にも当町桐内部落で死亡事故があり、全く痛ましい限りです。私共の身近かに交通事故の恐しさが迫っております。交通事故防止は、警察のものでも、役場のものでもなく、町民一人一人の責任です。当町交通事故防止対策協議会では、近く町内主要個所に交通事故防止に関する意見、感想等を広くとり入れるため「交通意見箱（仮称）」を設置し如何にして・事故防止するか啓蒙運動を展開しますので、みなさまの御協力をお願いします。

戸籍の知識

私たち国民の一人〳〵について最も身近かで関心を持たねばならないはずの夫婦であるとか、親子であるとか、兄弟であるなどという、いわゆる個人の身分関係を登録して公に証明する唯一の制度である戸籍について、近年非常に関心の薄い人に接することがしばしばある。

子供が生れた際に出生届を、死亡者があった際には死亡届をそれ〴〵市町村役場に対してしなければならない位の知識はどなたも承知していることと思われるのであるが、このような届出に当っても自分の本籍地を的確に知っていない人がままあって驚く、出生地が本籍地であると誤解している向が案外多い、特に本籍地を離れて生活している人がこのような誤解に基く届出をした場合、大変やっかいな問題が生ずる。

本籍地というのは自分の戸籍の所在場所であり、出生地と同じ場合もあるが、昭和二十三年以降結婚された方は、夫婦が婚姻届の際自由に選定した一定の場所であるということを再認識してもらいたいものである。

更にまた、出生届は十四日以内に出生地の市町村役場へ、死亡届は七日以内に死亡地の市町村役場へ、いずれも本籍地市町村とは関係なく届出なければならないことも前同様である。このように届出すべき期間の定められている届出と反対に届出すべき期間のない届出もある婚姻届がその典型的なものの一つである。

まだ記憶に生々しい十一月十三日にあった全日空機の松山遭難事故の惨事では十二組の新婚旅行者が「結婚式当日は日曜日だったので、旅行から帰って届出する」「結婚届には署名したが日曜日だったので市役所へ提出しなかった」「弟へわざ〳〵郷里の市役所へ提出するよう依頼したのみだった」という状態で旅立ちこれらの遺族の方々から結婚式をしたのは厳然たる事実であり、せめて戸籍の上でだけでも二人を夫婦として並べてやれないものか、と悲痛なさけびがなされていたと新聞などが報じていた。（次号に続く）

昭和42年成人式

左記により昭和四二年成人式が挙行されますので、該当者は必ず御参加下さい

記

一、日時　昭和四二年一月十五日午前十一時
二、場所　米内沢公民館

◇服装は簡素にし、なるべく洋服にして下さい。写真代一〇〇円と風呂敷を持参下さい。

昭和42年県民手帳

県民手帳を希望の方は、役場企画室で頒布していますので、お求め下さい。

一冊　一〇〇円です。

バイクも強制保険に入らなければ走れません

去る六月二十九日自動車損害賠償保障法が改正されました。

この法律では自動車が人身事故を起した場合の損害賠償能力を確保するために自動車を強制保険に加入させていますが、今度の改正で一般にバイクと呼ばれている原動機付自転車も強制保険の対象となり、昭和四十一年十月一日からは、強制保険に入っていないバイクは使えません。この強制保険を扱っているところは「海上火災」または「火災海上」の看板を掲げている損害保険会社及びその代理店です。保険料は二、五四〇円となっています。

またバイクに強制保険をかけますと、保険証明書とステッカーが渡されますが保険証明書はバイクの荷物入れや工具入れに入れて、バイクを使うときは常に備え付け、またそのステッカーはそのバイクに貼っておかなくてはなりません。貼る場所は町で交付するナンバープレートの左上部ですが、ナンバープレートにステッカーを貼る余白のない場合は車体の前面の見やすい場所です。

保険に入っていないバイクを使ったり、証明書を備え付けていなかったり、あるいはステッカーを貼っていなかったりした場合は、処罰されます。この強制保険に入っていれば万一事故を起したときも被害者に対して支払った損害賠償金のうち、死亡なら一五〇万円まで、傷害なら五〇万円までは保険会社から保険金として支払ってもらえます。また今度の法律改正で強制保険に代わるものとして農業協同組合の行なう責任共済事業がはじまりましたので農協組合員の方は軽自動車とバイクに限り、この責任共済に加入すれば強制保険に加入しなくともよいことになっています。責任共済の内容は責任保険の場合とまったく同じです。なお強制保険及び責任共済では被害者が直接保険会社又は農協に保険金相当額を請求する方法もあります。それでも足りない分は加害者に請求できます。またひき逃げ事故の被害者や相手が強制保険加入義務違反の無保険車のため保険金をもらえない被害者には国がその損害をてん補する制度がありますからあきらめずに請求してください。

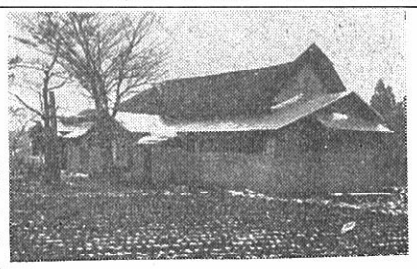
十二月のこよみ

十二月十五日　年賀郵便の受付開始
十二月十八日（日）家庭の日
十二月一日〜三十一日　歳末たすけあい運動
十二月二十二日　冬至
十二月二十五日（日）クリスマス
十二月二十八日　官庁仕事納め・
十二月三十一日　年越し、大みそか

「秋田県の木」の指定

県の木審査委員会において三種類の候補木を選定し県民を対象に公募しましたところ審査の結果次のように決定しました。

一、秋田県の木　「秋田すぎ」
二、指定年月日　昭和四十一年十月二十四日
三、候補の木「秋田すぎ」「雪つばき」「ぶな」



（写真右は、修築終った日栄山荘）

自治功労者金作之助先生遺蹟（日栄山荘）修築終る

当町日栄にある故金作之助先生の遺蹟山居が、荒廃しこの越冬を危ぶまれていたので、関係者有志が、保存会を結成し、県内外より寄付をあおいでいたところ、このほど約四十五万円の浄財が集まり修築、ありし先生の山居が、そのまま保存されることになり、感謝されている。

役場建設課技師

奥山光義氏　逝去

当町役場建設課技師奥山光義氏は、去る十二月四日午前十一時半急逝しました葬儀は六日執行されましたが、氏は十五年の長い間、本町技師として建設行政に貢献し、多くの人に惜しまれており、遺族は夫人と二男児がいます。

身障者施設に参万円

＝近藤豊治氏＝

米内沢近藤豊治氏は去る十一月一日逝去した喜美夫人の遺志を体し、このほど忌明香典返しとして、町社会福祉協議会を通して、参万円寄附されました。これは、県内の身体障害者施設に役立てて下されたいとのことで、早速、県共同募金会に届けることにしています。

慶弔だより（十一月）

出生　おめでとうございます

三浦栄仁（清信　二男）根森田
三浦慎吾（喜久郎　長男）下前田
石川民久（民男　長男）前田駅前
工藤真由美（勘一郎　二女）大倉
三浦信康（輝一　二男）堂ノ下
森美子（清右ェ門二女）前田駅前
柴田保（勝治　二男）女木内
庄司裕（泰雄　長男）前田通り町
白沢喜久子（昭喜　二女）桂瀬
金田厚子（鉄三　長女）新町
奥田真知子（政蔵　二女）浦田
佐々木正行（鉄男　長男）新町
杉田文則（稔　長男）御嶽
工藤雅子（俊一郎　長女）新町
佐藤伸哉（直久　二男）横町

婚姻　このよろこびをいつまでも

（増山敏明　東京都）庄司ミル　桂坂
（管原幹男　前田駅前）庄司シゲ子　桂坂
（崎浜秀伸　沖縄）吉田栄子　森吉
（織山練太郎　前田駅前）高橋成子　二ッ井町
（三浦庄作　根森田）高橋美貴子　田代町
（松岡敏二　合川町）金沢ツヱ　下羽立
（石川与次郎　鷲ノ瀬）行本恵子　東京都
（畠山鉄男　鷹巣町）九島光子　駅前
（松橋和雄　本町）板垣和子　城丁
（北林慎一　大杉）山田洋子　大館市
（鈴木孝蔵　桂）森川美代子　秋田市　瀬
（内田一郎　埼玉県）庄司信代　阿仁前田
（吉田茂市　森吉）高堰光子　阿仁町
（織山和男　前田駅前）石川允子　大曲市
（庄司琢二　阿仁前田）土井由子　京都府
（虹川栄　大館市）斎藤和子　前田駅前
（近藤忠雄　花矢町）木村洋子　裏町
（鈴木辰雄　上小阿仁）神成ヒロ　浦田
（高田幸明　新町）伊藤弘子　上小阿仁
（金定助　御嶽）佐藤悦子　神成

死亡　おくやみ申し上げます

三浦倉松　五九才（幸太郎父）新屋敷
森川倉松　六七（鉄蔵父）冷水
石川ナツ　五四（勇蔵母）冷水
庄司三五郎　六一（鉞一父）阿仁前田
庄司徳松　五六（栄進父）惣内
羽場マリ子　四（徳蔵二女）桐内
柏木吉松　六九（ハツ夫）桂瀬
吉田フサ　六八（国雄母）森吉
吉田アサ　六一（倉松妻）神成
近藤喜美　五九（豊治妻）大杉
細田トメエ　五九（与助妻）中新田
久住利一　五九（　）浦田
石崎待子　一〇（政吉長女）寄延
奈良タケ　七七（富蔵母）木城
金薫　三（敬吉長男）向本城
佐藤金治　六一（　）新町

密造酒
飲むまい
買うまい
造るまい

集会、約束の時間は固く守りましょう